

高等学校第1学年 国語科 国語総合 学習指導案

1 教材名

寓話「淮南子 塞翁馬」（東京書籍「精選国語総合」）

2 教材について

(1) 教材観

本教材は、寓話である。寓話は、春秋・戦国の激動の時代を背景として盛行したものであり、それらは学問の論争や政治の折衝の中で、生き生きとした説得力にあふれる表現性を身につけていった。そしてそこから生まれた故事成語は、現在の我々の生活の中にも幅広い分野で根付いている。

今回取り上げる『淮南子』には、道家的な思想が表れており、易経の影響も受けている。中でも「塞翁が馬」における「禍福」の考え方は、偶然と見える現象も実はすべて人間が自ら招くところのものだという『淮南子』人間訓（じんかんくん）の説を現代社会と重ねて読み取るにふさわしい教材である。学習指導要領国語総合「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(1)、アの(ア)「伝統的な言語文化への興味・関心を広げること」にもつながる。

また、陰陽思想的な「禍福」の思想を生徒自身の生活に引き寄せ考え直してみることは、単に教材の理解を深めるのに役立つばかりでなく、日常の出来事を謙虚に、そして前向きに捉える指針として大きな力を発揮するものとする。時勢の変化に柔軟に対応する主人公の考え方を深く読み取ることで、生徒が未来に向かい前向きに生きていくための基盤としたい。

本教材において学習を行うことは、古典が実人生への示唆を与えてくれるものであるという認識を育て、本校の学校教育方針である「道徳性の陶冶、真理の探求、心身の錬磨」及び育てたい生徒像「①豊かな人間性と品格を備えた生徒②確かな学力を身につけた生徒③進路の自己実現を目指す生徒」の実現や未来の創り手となる「豊かな学び」の創造につながるものであると捉える。

(2) 系統観

第1学年（6月）	第1学年（10月）本時	第2学年（9月）
国語総合 漢文 漢文入門 訓読 格言 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語総合 漢文 寓話 『淮南子塞翁が馬』 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	古典B 漢文 唐詩と文 『雑説』 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(3) 生徒観（1年4組 男子18名 女子14名 計30名）

○普通科普通クラスであり、進路希望は大学進学から就職まで幅広い。全体的に落ち着いた授業態度のクラスである。授業において発問や課題には真摯に向き合い、クラス全体に向けての積極的な発言も出る。ペアやグループでの話し合いでも様々な発言が出る。

○生徒の実態を把握するためにアンケートを実施した。結果は以下の通りである。

学習(国語総合)に関するアンケート(全30名)

アンケート項目	ア	イ	ウ	エ
① 自分は、学校生活や学習を通して、自分自身が成長したと思う。	6.7%	20.0%	70.0%	3.3%
② 自分は、学校生活や学習を通して、周りの人から、成長を認められていると思う。	10.0%	50.0%	36.7%	3.3%
③ 国語総合の授業のとき、「分かるようになった」や「できるようになった」と感じる。	0.0%	20.0%	50.0%	30.0%
④ 国語総合を学習したことにより、古典に親しみを感じるようになった。	13.3%	30.0%	43.4%	1.3%

⑤ 国語総合を学習したことにより、古典の人物も我々と同じ思いを持つことがわかり、これからも古典を読もう、参考にしようと思うようになった。	16.7%	40.0%	40.0%	3.3%
--	-------	-------	-------	------

アンケートより下記の実態が考えられる。

- ・国語総合の学習に対して意欲が高く、学習から得られるものを実感している生徒が多い。(アンケート3)
- ・学校生活や学習を通して、自分自身が成長したことには概ね肯定的だが、その成長を周囲から認められているかについては評価が低い傾向にある。(同1・2)
- ・古典教材の学習を通して、古典の人物も我々と同じ思いを持つことを考えたり、古典を読もう、参考にしようと思うようになったりする生徒は少ない。(同4・5)

(4) 指導観

- ペアワークでは、ループリックス的評価を用いて細かなステップで評価することにより、漢文訓読の上達を自己評価でも他者評価でも実感させる。
- 正しい訓読を理解した上で役割読みをすることで、漢文独特の言い回しや漢文の基礎を理解し、登場人物の心情について深く考察する契機とする。
- 寓話の持つ鋭い人間観や社会に対する洞察力を味わわせるとともに、登場人物の行動や心情を生徒自身に引き寄せて、段階的に読みを深めることで、実人生において起こる諸事に対して生きて働く学びとする。
- 3～4名の班で協議することで、自分の気付かなかった視点に気付き自分の考えが変わった、より良いものになったという実感を持たせる。

研究の視点1

「見方・考え方」に着目した問いの工夫

- ① 役割別音読を繰り返し練習することで、基礎の定着を図る。
- ② 自分の人生の中でうまくいかなかったことや困難を感じていることを書いた後、翁の言葉を付け足すことで、古典が自分の人生に生かせることを学ぶ。
- ③ 翁が一貫して同じような態度を取り続け、喜びすぎたり悲しみすぎたりしなかったのはなぜか考えることで、言葉による見方・考え方を働かせる。

研究の視点2

学びを実感する
振り返りの工夫

- ④ 動画やループリックス的評価を使って自己評価・相互評価することで、学びを実感させる。
- ⑤ ワークシートを使った振り返りを取り入れることで、学習過程を可視化する。

3 教材の目標と評価規準（参考：国立教育政策研究所作成「評価規準の設定例」）

教材の目標	寓話の持つ鋭い人間観や社会に対する洞察力を味わうとともに、登場人物の視点を自分自身に引き寄せて考える。		
国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く・読む能力	知識・理解
①本文の内容理解、音読、相互評価や協議に積極的に参加している。	①登場人物の心情について自分の考えをまとめ、協議の場で発表できる。 ②協議をする中で、自分以外の考え方に触れ、内容の理解を深めることができる。	①登場人物の心情について、ポイントを押さえてまとめることができる。 ②登場人物の心情について、自分に引き寄せて考えることで、内容の理解を深めることができる。	①語句の意味、重要句法を正確に理解した上で、書き下し文に直したり口語訳したりできる。

4 指導・評価の計画（5時間取扱い 本時4／5）

次	時	学習活動	評価及び研究の視点
一	1	1 本文を音読する。 (1) 訓読の決まりを復習する。 (2) 漢文らしい口調で音読する。 (3) 状況がよく分かるよう、抑揚をつけて音読する。	【関心・意欲・態度】①:観察 【知識・理解】：ループリック的評価 【研究の視点1】 ① 役割別音読を繰り返し練習する。 【研究の視点2】 ④ 動画やループリック的評価を使って自己評価・相互評価する。
二	2	2 本文の内容を理解する。 (1) 重要語句・句法に留意しながら書き下し文に直したり，口語訳したりする。	【関心・意欲・態度】①：ノート 【知識・理解】①：ノート
三	2 (本時1／2)	3 主人公の視点について協議し，内容の理解を深める。 (1) ペアで役割読みをする。 (2) 読みの熟達度を相互評価する。 (3) 本文に類した体験談を書き，互いにコメントを書く。 (4) 班を作り，主人公の視点の根拠についてそれぞれ考えた後，協議する。 (5) 各班で発表をし，互いに発表を聞く。 (6) 本文に即した体験談を書き，互いにコメントを書く。（2回目） (7) 学習内容を振り返る。 翁の考え方や「塞翁馬」を通して学んだこと・考えたことを記入する。	【研究の視点1】 ① 役割別音読を繰り返し練習する。 【研究の視点2】 ④ 動画やループリック的評価を使って自己評価・相互評価する。 【関心・意欲・態度】①：ワークシート・観察 【書く・読む能力】①②：ワークシート・観察 【研究の視点1】 ② 自分の人生の中でうまくいかなかったことや困難を感じていることを書いた後，翁の言葉を付け足す。 ③ 翁が一貫して同じような態度を取り続け，喜びすぎたり悲しみすぎたりしなかったのはなぜか考える。 【話す・聞く能力】①②：ワークシート・観察 【研究の視点2】 ⑤ ワークシートを使って振り返りをする。

5 本時の学習

(1)目標 自分の人生に引き寄せて翁の言葉を考えることで翁の考え方についての理解を深め、古典が人生の参考になるものであることを感じる。

(2)展開

過程	学習活動	指導上の留意点及び評価	備考
導入 3分	<p>1 本時の学習目標・流れを確認する。</p> <p>学習目標</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">翁の考え方についての理解を深める。</div> <p>2 ペアで役割別音読をする。</p>	<p>○「翁」の言動の根拠について協議することを伝える。</p> <p>○班を作る。</p> <p>○机間指導し、役割別音読がスムーズにできているか観察する。</p> <p>【研究の視点2】</p> <p>④音読を動画やルーブリック的评价を使って自己評価・相互評価する</p> <p>○指名して範読させる。</p>	<p>ルーブリック的评价シート</p>
展開 42分	<p>3 登場人物の視点について、自分に引き寄せて考える。</p> <p>(1)自分の不安や悩みが好転した・するだろう経験を書く。</p> <p>(2)互いの体験談にコメントを書く。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;">教材を貫く問い：翁が一貫して同じような態度を取り続け、喜びすぎたり、悲しみすぎたりしなかったのはなぜか。</div> <p>4 [教材を貫く問い]について話し合う。</p> <p>(1)自分なりの考えを持つ。</p> <p>(2)互いの考えを交流する。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; width: fit-content;">【言語活動】(設定の意図) 自分と他者の考えを比較・検討させることで、翁の考え方についての理解を深める。</div> <p>5 学習したことをまとめる。</p> <p>(1)[本時の問い]に対する分かったこと気付いたことを発表する。</p>	<p>○机間指導し、体験が書けていない場合はキーワードを示すなどのアドバイスをする。</p> <p>【研究の視点1】</p> <p>②自分の人生の中でうまくいかなかったことや困難を感じていることを書いた後、翁の言葉を付け足す。</p> <p>【研究の視点1】</p> <p>③翁が一貫して同じような態度を取り続け、喜びすぎたり、悲しみすぎたりしなかったのはなぜか考える。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">評価：話す・聞く能力(ワークシート・観察) B基準 自分の考えを提示し他の生徒の考えを聞き、翁の考え方についての理解を深めている。</div> <p>A基準 B基準に加え、的確な言葉を複数出すことができている。</p> <p>〈B基準に達していない生徒への手立て〉</p> <p>○机間指導をしながら、話し合いが進んでいない班にはいろいろな言葉を出してみ、当てはまるかどうかを考えるよう指導する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>使用するICT実物投影機</p>
整理 5分	<p>6 学習したことを振り返る。</p>	<p>○振り返りの視点を示し、次時への意欲を高める。</p>	